

## 生活介護 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年3月31日

回答数: 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	今年度コメント	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2			仕切り等を使用して、レイアウトや利用者の配置を工夫していますが、スペースが狭く、密の回避が難しい時があります。新型コロナの関係で利用者5人にしていますが間隔が取れない時があるため、仕切り等で工夫しています。	視界の良い透明な仕切りの利用や、時間によるスペース移動などの予防措置を講じながら、できる限りご利用していただけるように工夫を継続します。
	2	職員の配置数は適切であるか	4		1		今年度初めに離職や異動のために、配置の不足感はありましたが、同施設内の訪問看護ステーションの協力や新規採用により対応しました。しかしながら、入浴介助等で職員が分散する場合などに不足を感じる場合があります。	職員の配置基準は満たしています。引き続き、訪問看護ステーションとの連携を図りながら、職員教育もおこない、質の向上をおこなっていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5				活動内容より季節感を持たせたり、絵カードや音楽を使った時間や活動の区切りなどの工夫をおこなっています。昨年度は、天井走行式リフトをレンタルしました。	継続して行うとともに、福祉用具の利用などの環境的な配慮もおこなっていきます。今年度は、デイルームを広く網羅できる天井走行式リフトを導入する予定です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか	5				年度ごとの目標や行動計画を作成し、全職員で共有しながら実践・見直しをおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				年度ごとの目標や行動計画を作成し、全職員で共有しながら実践・見直しをおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	6	利用者・家族等向け評価表により、本人もしくは家族等に対して事業所の評価を実施するとともに、本人および家族等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				評価表にご協力いただき、結果をもとに職員会議にて会議にて共有、業務見直しをおこなっています。	継続しておこなっていきます。

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び利用者・家族向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5			事業所のホームページに掲載しています。	毎年、更新しており、継続しておこなっていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	第三者評価は検討中です。	引きつづき、情報収集や検討をおこなっていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			感染予防のためwebでの研修に参加しています。研修参加後は、職員間の共有もおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	10	年齢相応の対応、言葉かけ、呼称を使っている。	5			年齢に即した対応を心がけていますが、呼称はご本人が普段から慣れていると考えられる、ご家族が使用している呼び方を使っています。	呼び方は、ご本人の希望なども確認を行っていきます。対応は継続しておこなっていきます。
	11	職員や関係者の価値観で決めるのではなく、利用者の意思を尊重するように努めている。	5			会議等を利用し、職員の自己覚知を促しながら、利用者様の表情や仕草などで意思決定支援を心がけています。	継続しておこなっていきます
	12	利用者に合わせたコミュニケーション方法を選択している。	5			言語とともに、非言語コミュニケーションも利用し、わかりやすいように配慮しています。	継続しておこなっていきます。
	13	アセスメントを適切に行い、利用者や家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、生活介護計画を作成しているか	5			サービス管理責任者や担当職員によるモニタリングおよび評価をおこない作成しています。	継続しておこなっていきます。
	14	アセスメントを適切に行い、利用者や家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、多職種協働でカンファレンスの実施、リハビリテーション実施計画書を作成しているか	4	1		理学療法士を中心として、リハビリテーション会議をおこない作成しています。	継続しておこなっていきます。
15	利用者の心身の状態、適応の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	2	利用者の特性上、画一的なツールに乏しいため、個々に合わせた評価ツールを用いています。	既存のアセスメントツールで対応できる箇所はおこなっています。今後も、利用される方々に合わせたツールを検討し、導入していきたいと考えています。	

適切な支援の提供	16	生活支援計画書には、生活介護の基本方針で示す支援内容から、利用者の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			各項目を参考に支援内容を設定しています。支援内容については、支援会議を通して具体的な内容に設定できるようにしています。	継続しておこなっていきます。
	17	生活介護計画に沿った支援が行われているか	5			日々の支援が明確に計画に沿ったものとしてわかりやすい記録方法を検討しています。	継続しておこなっていきます。
	18	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			支援会議などで立案しています。	継続しておこなっていきます。
	19	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			支援員が中心となっておこなっています。	継続しておこなっていきます。
	20	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる生活介護計画を作成しているか	5			個別、集団で得られることを吟味しながら作成しています。	継続しておこなっていきます。
	21	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			始業時におこなっています。	継続しておこなっていきます。
	22	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		勤務形態および業務の流れにより、明確な時間は設けていませんが、適宜口頭もしくは記録にて共有を図っています。また、翌朝の打ち合わせ時に共有を図っています。	共有方法の工夫など、刷新をしながら継続していきます。
	23	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			電子記録ソフトを利用しておこなっています。	記録の徹底の継続とともに、検証しやすい記録方法などの刷新にもつとめていきます。
	24	定期的にモニタリングを行い、生活介護計画の見直しの必要性を判断しているか	5			概ね6ヶ月の計画更新や見直し時期に合わせておこなっています。	継続しておこなっていきます。
	25	定期的にモニタリングを行い、リハビリテーション実施計画書の見直しの必要性を判断しているか	5			概ね3ヶ月の計画更新や見直し時期に合わせておこなっています。	継続しておこなっていきます。
	26	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に参画しているか	5			サービス管理責任者や担当職員を中心に参画しています。	継続しておこなっていきます。
	27	利用者および家族の生活に関わりのある関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5			おこなっています。	継続しておこなっていきます。

関係機関や保護者との連携	28	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、介護の関係機関と連携した支援を行っているか	5			連携のための情報共有や相談をおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	29	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合) 利用者の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5			利用児の状況を主治医に報告するなど、日頃から体制づくりに努めています。	継続しておこなっていきます。
	30	他の障害者支援センターや障害者支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			今年度は感染予防の観点から書面での研修参加となりました。また、他事業所との連携を図り、支援についての情報共有を図っています。	継続しておこなっていきます。
	31	他事業所や地域等との交流や、障害のない人と活動する機会があるか		1	4	取り組みとして検討していましたが、感染予防の観点から保留としています。	コロナ禍でもできる交流方法などを、検討していきます。
	32	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の生活状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時の利用とともに、連絡ノートや電話などでおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して計画的な支援を行っているか	5			送迎時やモニタリング時を利用して、ご本人やご家族状況を把握し、計画的に支援をおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時などに説明をしています。	継続しておこなっていきます。
	35	生活介護の基本指針に基づき作成された「生活介護計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	5			おこなっています。	継続しておこなっていきます。
	36	多職種協働で作成された「リハビリテーション実施計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	5			おこなっています。	継続しておこなっていきます。

本人・保護者への説明責任等	37	定期的に、利用者および家族からの生活上の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			おこなっています。	継続しておこなっていきます。
	38	当事者および家族の会の活動を支援したり、家族会等を開催する等により、当事者や家族同士の連携を支援しているか	3	1	1	昨年度から感染予防のため懇談会は中止している 今年度は新型コロナの関係で未実施	コロナ禍でも実施できることを検討していきます。
	39	利用者や家族からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族に周知相談や苦情の申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			おこなっています。 伺った内容に合わせて、ご家族了承のもとで関係機関との情報共有や紹介もおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	40	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族に対して発信しているか	5			ホームページやお便り、施設機関紙を活用して発信しています。	継続しておこなっていきます。
	41	個人情報の取扱いに十分に注意しているか	5			取り扱いに対する同意をいただくとともに、取り扱いには留意しています。	継続しておこなっていきます。
	42	障害のある利用者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			ご利用者やご家族にあわせて、文字の大きさや絵、写真等も利用し、わかりやすいように配慮しています。	継続しておこなっていきます。
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	1	昨年度までは、事業所や施設で地域交流を図っていましたが、現状で感染予防のため、難しい状況です。	今後、感染予防を踏まえて、コロナ禍でも実施できることを検討していきます。
非営	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や利用者、家族に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		1	おこなっています。 昨年度は、感染予防のため集団での訓練等はおこなえませんでした。	今後、感染予防を踏まえて、コロナ禍でも実施できることを検討していきます。
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		1	おこなっています。 昨年度は、感染予防のため集団での訓練等はおこなえませんでした。	今後、感染予防を踏まえて、コロナ禍でも実施できることを検討していきます。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を確認している	5			確認し、個人ファイルなどに保管しています。	継続しておこなっていきます。

常時等の対応	47	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされている	5			食事および栄養剤などは、ご家庭から持参したものを提供しています。	必要に応じて、ご家族や関係機関からの情報収集をおこなっていきます。
	48	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			おこなっています。 ヒヤリハットなどの発生後は、適宜カンファレンスをおこない、再発予防に努めています。	継続しておこなっていきます。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			毎年、1回勉強会を開催しています。 適宜、支援振り返りもおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	50	どのような場合にやむ得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、生活介護計画に記載している	5			身体拘束の知識の共有を職場内でおこない、拘束にあたらぬ支援方法を検討しています。	継続しておこない、適宜、計画への記載や利用児童やご家族への説明もおこなっていきます。